

令和6(2024)年度 後期授業評価アンケート分析報告書

1. 概要

2024年度後期授業評価アンケートについて、主要項目の代表値を前年度および今年度前期の結果と比較した。また、「全科目」「履修者数20人以上の科目」「履修者数20人未満の科目」に分けて相関分析を行った。さらに、前回の課題であった「Q1. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか」の設問への回答を活用し、学生の履修動機別の傾向を探るため「履修動機が強い学生データによる科目」「履修動機が強い学生データによる科目」に分けて相関分析を行った¹。

なお、今年度から授業評価アンケートの対象科目からゼミナールが除外された。また、本報告の目的が科目ごとの満足度や難易度の傾向を把握することであることや、生データ（学生の個別回答）では履修者数の多い科目の影響が大きくなることから、科目ごとの平均値を用いた分析を行った。

本分析から、(1)満足度は興味関心、資料のわかりやすさ、双方向性、指示の適切性と正の相関を持つこと、(2)履修動機が強い学生は資料のわかりやすさ、履修動機が強い学生は指示の適切性が満足度と強い正の相関を持つこと、(3)履修動機が強い学生の満足度は履修動機が強い学生よりも高いこと、(4)満足度は難易度と課題分量と負の相関を持つこと、(5)満足度と難易度および課題分量との負の相関は学生の履修動機よりも履修者数の方が強い影響を受けること、が示された。

● 分析結果

<主要項目の平均値と中央値(表1)>

- ・ 履修者数(51.61)は、前年度後期より約14名増加した。今年度前期より約8名減少した。
- ・ 回答率(0.494)は、前年度後期および今年度前期とほぼ同水準であった。
- ・ 学習時間(50.43)は、前年度後期より約9分短くなった。今年度前期より約5分長くなった。
- ・ 興味関心(4.191)、難易度(3.720)、満足度(4.221)は、前年度後期とほぼ同水準であったが、今年度前期よりわずかに改善された。

<授業満足度との相関関係(表2~6)>

「表2 全科目の相関行列」「表3 履修者数20人以上の科目の相関行列」「表4 履修者数20人未満の科目の相関行列」「表5 履修動機が強い学生データによる科目の相関行列」「表6 履修動機が強い学生データによる科目の相関行列」から、以下のことが確認できた。

- ・ 表2~6から、満足度との相関が見られる項目は次の通りである²。

¹ 「Q1. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか」の設問に対して、「2. 資格取得のため」または「5. 内容に興味」と回答した学生のデータを「履修動機が強い学生データによる科目」、「3. 時間割上の都合」または「4. 必修科目だから」と回答した学生のデータを「履修動機が強い学生データによる科目」としている。いずれも科目ごとの平均値にしている。サンプルサイズの問題で、これらのデータによる履修者数別の分析は行っていない。なお、Q1は履修時の状況についての設問である一方、Q2以降は、「Q2. この授業を受けて、授業の内容に興味や関心を持ちましたか」のように、実際に授業を受けた経験についての設問になっている。

² 相関係数の評価はギルフォードの規則に従う。0.2未満：相関なし、0.2~0.4：弱い相関、0.4~0.7：中程度の相関、0.7以上：強い相関。

中程度～強い正の相関	弱～中程度の負の相関
興味関心、資料のわかりやすさ、 双方向性、指示の適切性	難易度、課題分量

- ・ 表 2 と表 3 から、満足度との正の相関が高い項目は、興味関心 (0.782、0.767)、資料のわかりやすさ (0.775、0.757)、双方向性 (0.699、0.715)、指示の適切性 (0.696、0.778) であり、今年度前期と同様の傾向が見られた。また、負の相関が高い項目は、課題分量 (-0.362、-0.556)、難易度 (-0.279、-0.490) であり、今年度前期の課題分量 (-0.246、-0.314) より相関が強まった。表 3 では、難易度と課題分量 (-0.334) および資料のわかりやすさ (-0.328) の間にも弱い負の相関が見られた。
- ・ 表 4 から、満足度との相関が最も高いのは資料のわかりやすさ (0.766)、次に興味関心 (0.765) であった。
- ・ 表 5 と表 6 から、満足度との正の相関が高い項目は、興味関心 (0.585、0.676)、資料のわかりやすさ (0.827、0.661)、双方向性 (0.621、0.633)、指示の適切性 (0.423、0.810) であり、上記と同じ傾向が見られた。ただし、最も相関が強い項目は、表 5 では資料のわかりやすさ (0.827) である一方、表 6 では指示の適切性 (0.810) であった。また、表 6 では、満足度と課題分量 (-0.363) との間に弱い負の相関が見られた。

● 考察

<主要項目の平均値と中央値 (表 1) >

- ・ 前年度と比べ、履修者数の増加、回答率の減少、および学習時間の減少については、前期報告で示した通り、アンケート対象からゼミナールが除外されたことが影響していると考えられる。
 - 表 1 には含まれないが、履修者数 20 人以上の科目の満足度の平均値は 4.12、履修者数 20 人未満の科目は 4.36 であり、履修者数が少ない科目ほど満足度が高い傾向が見られた。この結果は、前期報告と同様の傾向である。
- ・ 前期と比べ、履修者数の減少、回答率の減少、学習時間の増加は、例年と同様の傾向である。

<授業満足度との相関関係 (表 2～6) >

- ・ 興味関心、資料のわかりやすさ、指示の適切性、双方向性は、満足度との強い正の相関を持つため、これらを意識した授業運営が重要である。
- ・ 履修者数の多い科目では、満足度と難易度および課題分量との間に中程度の負の相関があり、難易度と課題分量が満足度に影響している可能性がある。
- ・ 履修動機が強い学生と履修動機が弱い学生では、満足度と正の相関を持つ項目は上記と同じ項目であったが、履修動機が強い学生は資料のわかりやすさ、履修動機が弱い学生は指示の適切性を重視する傾向が確認できた。前者は学習意欲が高いことが予想され授業内容の理解に積極的である一方、後者は学習意欲が高くないことが予想され曖昧な指示では授業内容が理解できていないためだと考えられる。
 - 表 5 と表 6 には含まれないが、履修動機が強い学生データによる科目の満足度の平均値は 4.43、履修動機が弱い学生データによる科目は 4.00 であり、履修動機が強い学生の満足度の方が

高い傾向が見られた。

- ・ 履修動機が強い学生では、満足度と課題分量との間に弱い負の相関が見られるが、履修者数の多い科目ほどの相関ではなかった。
 - 履修者数の多い科目では、難易度と課題分量および資料のわかりやすさの間に弱い負の相関も見られたため、難易度が単に授業内容の高度さを反映しているだけでなく、課題分量や資料のわかりやすさの影響を受けている可能性もある。

2. 実施状況

2024年度後期授業評価アンケートは次の方法で実施された。

- 実施期間・収集方法
 - ・ 令和6年12月9日（月）～12月20日（金）
 - ・ 後期・通年開講科目（集中講義を含む）について実施
 - ・ 授業時間の冒頭に、in Campus のアンケート機能を使用して実施
- ※アンケートの回答方法は、2022年度から in Campus で実施している。
※2024年度からゼミナール科目が除外された。

3. サンプルの状況

履修者数がゼロだった科目を除いた 183 科目からアンケートを回収した。これらの科目から最終的に回収した回答数は 3,501 件であった。なお、回答数がゼロであった科目もあり、回答があった科目数は 180 科目であった。以下の表は、回答があった 180 科目のデータから作成されている。

4. 主要項目の平均値と中央値

主要項目の平均値と中央値の推移を表1に示す。この表は、例年「科目ごとの平均値」を集計しており、今回も同様である。例えば、興味関心の平均であれば、各科目の興味関心に対する回答の平均値を合計し、科目数（180）で除している。

表1 主要項目の推移

年度	履修者数		回答率		興味関心		難易度		満足度		学習時間	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
2021前	37.79	15	0.783	0.830	4.140	4.140	3.750	3.770	4.190	4.210	42.11	38.26
2021後	37.21	13	0.758	0.786	4.170	4.160	3.780	3.790	4.190	4.180	48.06	43.88
2022前	37.60	15	0.603	0.579	4.138	4.116	3.631	3.656	4.141	4.143	59.53	53.33
2022後	37.07	15	0.560	0.545	4.157	4.167	3.731	3.727	4.177	4.185	60.68	56.46
2023前	39.89	15	0.616	0.618	4.119	4.167	3.697	3.700	4.143	4.125	53.38	48.75
2023後	37.16	14	0.485	0.500	4.187	4.182	3.710	3.714	4.201	4.231	59.46	50.00
2024前	59.13	35	0.500	0.511	4.122	4.140	3.730	3.720	4.090	4.130	45.60	42.40
2024後	51.61	29	0.494	0.500	4.191	4.221	3.720	3.741	4.221	4.250	50.43	45.00

注) 学習時間は、アンケートの「課題取り組み時間 (Q10 相当)」で算出している。「180分以上」は180、「0分」は0とし、それ以外は真ん中の数値 (例えば、0分以上30分未満は15分で計算)を用いている。

5. 授業満足度との相関関係

「全科目」「履修者数 20 人以上の科目」「履修者数 20 人未満の科目」「履修動機が強い学生データによる科目」「履修動機が弱い学生データによる科目」に対する相関行列を表 2～6 に示す。相関行列については、2022 年度までは生データ（学生の個別回答）を用いていたが、昨年度は生データと科目ごとの平均値の両方を使用し、今年度からは科目ごとの平均値のみを使用している。

表 2 全科目の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
興味関心	Q2	1.000	0.051	0.673	0.717	0.098	0.665	-0.149	0.283	0.161	0.782
難易度	Q3	0.051	1.000	-0.100	-0.057	-0.019	-0.125	0.259	0.311	0.379	-0.279
指示の適切性	Q4	0.673	-0.100	1.000	0.758	0.245	0.702	-0.220	0.143	0.001	0.696
双方向性	Q5	0.717	-0.057	0.758	1.000	0.231	0.677	-0.190	0.264	0.085	0.699
inCampus活用度	Q6	0.098	-0.019	0.245	0.231	1.000	0.382	-0.102	-0.027	0.052	0.246
資料のわかりやすさ	Q7	0.665	-0.125	0.702	0.677	0.382	1.000	-0.243	0.130	0.023	0.775
課題分量	Q8	-0.149	0.259	-0.220	-0.190	-0.102	-0.243	1.000	0.252	0.386	-0.362
予習・復習	Q9	0.283	0.311	0.143	0.264	-0.027	0.130	0.252	1.000	0.620	0.187
課題時間	Q10	0.161	0.379	0.001	0.085	0.052	0.023	0.386	0.620	1.000	0.015
満足度	Q11	0.782	-0.279	0.696	0.699	0.246	0.775	-0.362	0.187	0.015	1.000

注) サンプルサイズ 180。

表 3 履修者数 20 人以上の科目の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
興味関心	Q2	1.000	-0.163	0.553	0.616	0.209	0.579	-0.379	-0.063	-0.106	0.767
難易度	Q3	-0.163	1.000	-0.376	-0.279	-0.013	-0.328	0.373	0.357	0.353	-0.490
指示の適切性	Q4	0.553	-0.376	1.000	0.743	0.532	0.781	-0.347	-0.114	-0.114	0.778
双方向性	Q5	0.616	-0.279	0.743	1.000	0.415	0.664	-0.191	0.120	0.051	0.715
inCampus活用度	Q6	0.209	-0.013	0.532	0.415	1.000	0.649	0.084	0.204	0.241	0.337
資料のわかりやすさ	Q7	0.579	-0.328	0.781	0.664	0.649	1.000	-0.334	-0.021	-0.111	0.757
課題分量	Q8	-0.379	0.373	-0.347	-0.191	0.084	-0.334	1.000	0.415	0.557	-0.556
予習・復習	Q9	-0.063	0.357	-0.114	0.120	0.204	-0.021	0.415	1.000	0.847	-0.129
課題時間	Q10	-0.106	0.353	-0.114	0.051	0.241	-0.111	0.557	0.847	1.000	-0.226
満足度	Q11	0.767	-0.490	0.778	0.715	0.337	0.757	-0.556	-0.129	-0.226	1.000

注) サンプルサイズ 105。

表4 履修者数20人未満の科目の相関行列

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
興味関心 Q2	1.000	0.148	0.701	0.733	-0.012	0.685	0.092	0.453	0.241	0.765
難易度 Q3	0.148	1.000	0.018	0.023	-0.031	-0.039	0.215	0.283	0.386	-0.196
指示の適切性 Q4	0.701	0.018	1.000	0.723	0.020	0.625	-0.059	0.249	-0.010	0.600
双方向性 Q5	0.733	0.023	0.723	1.000	0.081	0.654	-0.098	0.314	0.028	0.644
inCampus活用度 Q6	-0.012	-0.031	0.020	0.081	1.000	0.180	-0.239	-0.190	-0.068	0.157
資料のわかりやすさ Q7	0.685	-0.039	0.625	0.654	0.180	1.000	-0.127	0.184	0.040	0.766
課題分量 Q8	0.092	0.215	-0.059	-0.098	-0.239	-0.127	1.000	0.189	0.361	-0.159
予習・復習 Q9	0.453	0.283	0.249	0.314	-0.190	0.184	0.189	1.000	0.517	0.347
課題時間 Q10	0.241	0.386	-0.010	0.028	-0.068	0.040	0.361	0.517	1.000	0.080
満足度 Q11	0.765	-0.196	0.600	0.644	0.157	0.766	-0.159	0.347	0.080	1.000

注) サンプルサイズ 75。

表5 履修動機が強い学生データによる科目の相関行列

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
興味関心 Q2	1.000	0.200	0.591	0.526	0.168	0.587	0.179	0.305	0.200	0.585
難易度 Q3	0.200	1.000	0.137	0.057	0.018	-0.072	0.306	0.277	0.356	-0.130
指示の適切性 Q4	0.591	0.137	1.000	0.539	0.262	0.511	0.055	0.170	0.055	0.423
双方向性 Q5	0.526	0.057	0.539	1.000	0.246	0.592	0.166	0.204	0.070	0.621
inCampus活用度 Q6	0.168	0.018	0.262	0.246	1.000	0.352	0.025	-0.114	-0.084	0.280
資料のわかりやすさ Q7	0.587	-0.072	0.511	0.592	0.352	1.000	0.012	0.207	0.044	0.827
課題分量 Q8	0.179	0.306	0.055	0.166	0.025	0.012	1.000	0.251	0.291	0.075
予習・復習 Q9	0.305	0.277	0.170	0.204	-0.114	0.207	0.251	1.000	0.818	0.260
課題時間 Q10	0.200	0.356	0.055	0.070	-0.084	0.044	0.291	0.818	1.000	0.102
満足度 Q11	0.585	-0.130	0.423	0.621	0.280	0.827	0.075	0.260	0.102	1.000

注) サンプルサイズ 164。「Q1. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか」に対して「2. 資格取得のため」または「5. 内容に興味」と回答した学生のデータを使った科目ごとの平均値。

表6 履修動機が強くない学生データによる科目の相関行列

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
興味関心 Q2	1.000	0.103	0.633	0.639	0.314	0.649	-0.122	0.242	0.036	0.676
難易度 Q3	0.103	1.000	0.016	0.132	0.066	0.006	0.284	0.354	0.299	-0.144
指示の適切性 Q4	0.633	0.016	1.000	0.713	0.530	0.745	-0.176	0.112	-0.117	0.810
双方向性 Q5	0.639	0.132	0.713	1.000	0.505	0.568	-0.150	0.190	-0.092	0.633
inCampus活用度 Q6	0.314	0.066	0.530	0.505	1.000	0.519	0.003	0.166	0.031	0.383
資料のわかりやすさ Q7	0.649	0.006	0.745	0.568	0.519	1.000	-0.253	0.103	-0.157	0.661
課題分量 Q8	-0.122	0.284	-0.176	-0.150	0.003	-0.253	1.000	0.319	0.645	-0.363
予習・復習 Q9	0.242	0.354	0.112	0.190	0.166	0.103	0.319	1.000	0.567	0.045
課題時間 Q10	0.036	0.299	-0.117	-0.092	0.031	-0.157	0.645	0.567	1.000	-0.228
満足度 Q11	0.676	-0.144	0.810	0.633	0.383	0.661	-0.363	0.045	-0.228	1.000

注) サンプルサイズ 149。「Q1. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか」に対して「3. 時間割上の都合」または「4. 必修科目だから」と回答した学生のデータを使った科目ごとの平均値。

6. 結論

満足度が興味関心、資料のわかりやすさ、双方向性、指示の適切性と正の相関を持つことが確認された。また、満足度について、履修動機が強い学生は資料のわかりやすさ、履修動機が強い学生は指示の適切性を重視する傾向があることが確認された。さらに、履修動機が強い学生の満足度は履修動機が強い学生よりも高かった。一方、満足度に対する難易度または課題分量の関係については、履修動機が強い学生および履修者数の多い科目で負の相関が見られた。また、履修者数が多い科目では、満足度と難易度および課題分量の負の相関がより強くなるなど、学生の履修動機と履修者数の間における傾向の違いが確認できた。満足度と難易度および課題分量との負の相関は、学生の履修動機だけで生じるのではなく履修者数も影響を及ぼしていることから、授業の運営方法も重要である可能性が示唆された。

以上